

しんとみ

ニュース

地域おこし協力隊が 小学生にサッカー教室

「子どもたちに思い出を作ってあげたい」という先生の思いがきっかけとなり、富田小6年生の体育(サッカー)の授業に、地域おこし協力隊が登場。子どもたちは協力隊にアドバイスもらいながら、ドリブルやパスに挑戦。最後はミニ試合で激しい攻防をくり広げるなど、短時間でメキメキと上達していました。



木工教室で 本棚を作りました

2月14日、「富田っ子を育てる会」が、親子木工細工教室を開きました。参加した児童とその保護者8組18名は、親子で協力して釘打ちやヤスリがけをし、スライド式の本棚を作製。「釘を打つのが楽しかった」「好きな飛行機や虹の絵を描いて本を置きたい」と子どもたちは満足した様子でした。



専門学生が黄金千貫を 使ったデザートを開発

新型コロナウイルスの影響による焼酎の減産に伴い、出荷量が落ち込む町産の焼酎用の甘藷「黄金千貫」を活用しようと、デザート開発が行われました。福岡キャリアナリー製菓調理専門学校の製菓・製パン科2年生が、11種類のデザートを作り、オンラインで審査員にプレゼン。クリームに黄金千貫を使ったエクレア「いもレア」が、最優秀賞に選ばれました。今後も、地元の農畜産物を活かした商品開発に取り組んでいきます。



町内2名が県農産園芸 特産物総合表彰を受賞

県内の各市町村から推薦された中から、優秀な成績を収めた農業者を表彰する「令和2年度宮崎県農産園芸特産物総合表彰式」が行われました。新富町からは、宮本恒一郎さん(六反田)が米の早期水稲の部で1等および宮崎県農業共済組合長賞を、比恵島学さん(柳瀬)が野菜の経営部門(個人/きゅうり)で2等を受賞。「引き続きいろんな挑戦をしていきたい」(比恵島さん)と語るなど、受賞を喜んでいました。



比恵島学さん

宮本恒一郎さん、息子の貴倫さん

新富町をPRする ミニドラマを撮影中!

アートで町を盛り上げる「芸術家まちづくり事業」のプロジェクトとして、新富町のPR動画の撮影が進んでいます。座論梅や富田浜、日向新富駅などを舞台にした4本のミニドラマは、来年度に公開予定です。脚本・演出などを担当するユニット「あんでな」の本田泉さんは「ワークショップを通じて町の人から出たアイデアを取り込み、新富の人の良さ、温かさや伝わるような日常の幸せを描きたい」と語っていました。

